

# 小坂井 実議員 清流クラブ

## 公共施設に防犯カメラの積極的な設置を

問

大阪府高槻市で男女中学生が殺害された凶悪非道な事件は発生から8日後、容疑者が逮捕された。

事件を解決に導いたのは、防犯カメラであった。

防犯カメラは犯罪解決の決め手であると同時に、その名のとおり犯罪抑止に大変有効だと考え、尋ねる。

(1) 今年度新規事業である防犯カメラ設置補助事業の申込件数と設置実績は。

(2) 今年度の実績が1件50万円ならば、残りの予算分を今年度以前に設置の自治会に補助制度を適用することはできないか。

(3) 自治会による自主的な希望に対する補助金だけでなく、犯罪抑止の観点から、市みずから、庁舎玄関、保育所、学校の周囲、駅、幹

線道路、市が管理する公園などに防犯カメラを設置すべきではないか。

**3年間で30台設置をしていきたい**

答 危機管理課長

(1) 当初、複数の地区から相談をいただいたが、11月現在で実際の申請件数は1件である。予算的には4件分確保している。

(2) 大変申しわけないが、今年度からの新設ということで取り扱いをしている。

(3) 県の防犯カメラ設置及び運用に関するガイドラインや本市の防犯カメラ設置及び運用に関する要綱に基づき、個人情報保護の観点から、記録された画像データは適切に管理しなければならないと考えている。

防犯カメラを設置してい

る施設は、総合社会教育センター、図書館、総合福祉センター、十四山スポーツセンター、小・中学校11校のうち7校、保育所は2保育所、市駐輪場5カ所、日の出公園に1カ所、一般廃棄物最終処分場に2カ所。

今年度、近鉄弥富駅南口に防犯カメラを設置予定で、来年度以降も人通りが多い駅前などに設置していく。

答 市長

(3) 優先順位を決めて1年間に10台ずつ、3年間で30台設置していきたい。

## 市内に高台造成による避難所を作れないか

問

(1) 9月に茨城県常総市で1級河川鬼怒川の堤防が決壊し、大きな被害をもたらしたが、市内の日光川と木曾川の①堤防高、②底辺の幅は。

(2) 市内避難所の空白地域、避難所が見えていても遠回りが必要となることや人口に見合った避難所の規模に満

たないところはないか。

(3) 近隣では、高台造成による避難所がつけられている。本市も、リニア新幹線の排出残土を活用し、海屋内、ここは堤防の高さが5mある。ここを堤防の高さ以上に埋め立て、高台をつくれれば、自然排水ができ、擁壁は堤防を利用できる。

橋をかけることによって、名古屋市をも巻き込むこともできると考えるが、市で検討できないか。

**費用面や長期的計画になることから提案として受けとめておく**

答 土木課長

(1) 各河川管理者に確認したところ、日光川は、神戸七丁目の宝川と日光川が合流する上流付近の①が約5m弱、②が約28m弱。

木曾川は、小島町、JR鉄橋の上流付近の①が約7m、②は約48m。

答 危機管理課長

(2) 避難所までの距離や収容率に偏りがあるため、一刻でも早く解消すべく、引

き続き公共施設の屋上整備の実施や、市の一時避難場所の基準を満たす民間施設との協議を進めることにより、高所の避難場所の確保に努めていきたい。

答 市長

(3) 相当の額を要すると同時に、長期的な計画になるだろうという中で議員からの提案として受けとめさせていただきます。

## プレミアム商品券を再度販売できないか

問

10%のプレミアム率でもよいので再度販売する考えはないか。

**市単独での販売は考えていない**

答 市長

20%のプレミアム率が定着化してくると考える。

市単独のプレミアム商品券の販売については、慎重に進めなければならぬ。現在、市単独の販売は考えていない。